

英字新聞の読み方 基礎編その2

P a r t 4

例文 3

NHK fears 10% fees income drop

(NHK は 10 パーセントの視聴料下落を懸念)

Public broadcaster NHK / **faces** / up to a 10 percent **drop** / in viewing fee income next year / when the country shifts / from analog broadcasting to a terrestrial digital format, / as households without television sets or tuners equipped to receive such signals / could stop paying, / an NHK estimate showed Saturday.

(カンどころ) この文も太字で示した主語＋述語＋修飾補語と並ぶ基本形です。when からは状況説明が続いています。as からは理由の説明部分です。後ろに長くつながる文章ではこの例文のように説明をどんどん付け加えて行くケースがほとんどです。最後のカンマの後は、情報源を付け加えています。

(語い) public broadcaster : 公共放送局、faces : 直面する、up to ～ : 最大～まで、in viewing fee income : 視聴料収入で、shifts : 転換する、analog : アナログの、terrestrial digital format : 地上波デジタル方式、households : 世帯、equipped to receive～ : ～の受信力を備えた、paying : 支払、estimate : 予測

(区切りで順に訳すと) 公共放送の NHK は／直面している／最大で 10 パーセントの落ち込みを／来年の視聴料収入で／日本が転換するとき／アナログ放送から地上デジタル方式に／そうした (デジタル) 信号受信力を備えたテレビやチューナーを持たない世帯が／(受信料の) 支払いを止めるかもしれないので／と土曜日に NHK の予測が示した。

肝心な部分は、「NHK は来年視聴料収入で最大 10 パーセント落ち込みに直面している」です。